

# ますは

## 「生きる力」

「ところが今、僅かな間、私たちの神、主の憐れみによって、私たちを生き残る者とし、その聖なる所によりどころを与え、私たちの目に光を与え、奴隷の身の私たちに僅かに生きる力を与えられました。」

(エズラ記 第9章8節・旧約聖書722頁)

はじめに

私たち人間は「私は生きている」と言われる方と結びつくことによって「生きる」ことができます。神との交わりを深めるためには御言葉と礼拝が欠かせませんが、価値観が違う人たちとの関係に影響され、信仰を保つことさえ困難を感じているのが現実です。その中で神に背くようなことをした場合、どのようにしたらいいのか、エズラの祈りをによって自らの処し方を探りたいと思います。

誘惑に陥ってしまった時に

信仰的な重大背反事件が明るみに出た直後のエズラの祈りが記されています。「私は御前に恥じ入るあまり、顔を上げることができません」(6)とは、祭司たちがその地の民たちと婚姻関係に陥っていたからで、周囲の力に負けて信仰が形だけのものになっていたのです。「敵対者」は味方のふりをして、自分のペースに引き入れ、私たちの信仰を骨抜きにしていまいます。この事件では、こともあろうか、民たちの信仰の支柱となるべき祭司が、「背信行為に手を染め」(2)していました。私たちも、気がつかないうちに背信行為に手を染めることがあるのではないのでしょうか。その時、私たちが取るべき行動とはなんなのでしょう。

エズラの祈り

そのことを聞いたエズラは、すぐに執り成しの祈りをささげました。

まず自分の罪を具体的に語り、悔い改めること、主の十字架の前に進み出ることです。これ

こそが悔い改めなのです。失敗をし過ちを犯したとき、すぐに自分自身を責め、神は私を祝福されないとかってに思い込んでしまうのですが、神は私たちが悔い改めて立ち返ることを望んでおられる憐れみ深い方であることを忘れてはなりません。それが十字架なのです。

エズラは神の憐れみを期待しました。そしてとりなしたのです。「私たちが生き残る者とし」とは、神が私を選び、招き、祝福を与えようとしておられるということです。神は私たちが滅ぶのではなく、生きてほしいと願っているのです。「聖なる所によりどころを与え」とは、私たちが神に属する者、つまり聖別された者として、いつでも神のもとに戻って行かれるということ、「光を与え」とは将来、行くべき道を示すこと、「奴隷の身の私たちに生きる力を与えられました」とは罪から解放されて神の自由に生きることであり、それによって神との交わりを回復させてくださいと祈ったのです。

民たちも変えられていく

注目すべきは、このエズラの祈りが民全体に広がっていき、民たち全体が、神に向かい、そして改めて神の力に満たされて前進し始めたことです。私たち一人一人が神の前に出て、自分の足りなさ、自分の弱さを悔い改めることによって、教会全体も、その一人の真摯な信仰によって変えられていくことを覚えるべきです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「わが神よ、私は御前に恥じ入るあまり、顔を上げることができません。私たちの過ちは積み重なってわが身の丈を越え、罪責は大きく天にまで達しています。…今日のとおりです。ところが今、僅かな間、私たちの神、主の憐れみによって、私たちを生き残る者とし、その聖なる所によりどころを与え、私たちの目に光を与え、奴隷の身の私たちに僅かに生きる力を与えられました。確かに、私たちは奴隷です。しかし、神は奴隷の身の私たちを捨て置かれず、ペルシアの王たちの前で私たちに慈しみを示されました。それ



は私たちに生きる力を与えるため、私たちの神の宮を再建するため、廃虚を復興するため、ユダとエルサレムで私たちに城壁を与えるためでした。…私たちの神よ、あなたは私たちの過ちを重く見ず、私たちをこのように生き残らせてくださいました。」(エズラ記 9:6～15)

私はあなたを裏切るような事をしてしまいました。しかし、あなたはそのような私を再び立ち上がらせてくださろうと、憐れんでくださっていることを感謝します。そのあなたの寛容を信じ、前を向きます。御名によって祈ります。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (99) 第5章2節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「それは慎みを守り あなたの唇に知識を保つため。」

◎口語訳 「これは、あなたが慎みを守り、あなたのかちびるに知識を保つためである。」

◎新改訳 「これは、分別を守り、あなたのかちびるが知識を保つためだ。」

#### 「唇に知識」

父が子を諭すように、「私の英知」を語ります。それは「神から与えられた知恵によってこれまでの人生を歩んできたけれども、それは間違いではなかった。だからあなたもそのような歩みをしてほしい」との経験談でもありました。なぜそれを語ったか、その理由がこの節に書かれています。「子が慎みを守り、唇に知識を保つため」でした。続く3節からは襲ってくる「誘惑」について語られているので、節操を保つための心構えだと考えられます。

「唇に知識」とあります。なぜ「心に知識」と言わなかったのでしょうか。聖書において「心」は重要で、その人の生き方や意志を示すのですが、どちらかという内面に向かっています。それとは違い、知識は外に向かって表れるものです。その人の生き方が唇を通して現れてくるわけです。自分でうちに秘めている知識は自分

#### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

の心を充実させますが、私たちは避けようのない社会の誘惑にさらされているわけで、知識(自分の生き方)が問われる場面にしばしば遭遇します。そこで現れるか埋没するかが分かれ目で、祝福されるか否かが決まっていきます。

3節を見ると、誘惑する者は「蜜をしたたらせた唇」が武器ですから、私たちも「知識の唇」で対抗するという対比をしているわけです。

私たちの唇、舌は体の一つの器官ですが、それを動かしているのは心です。言葉からその人格を知ることができるのです。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

ヨブ記第25章4節「人はどうして神に対し正しくありえようか。女から生まれた者がどうして清くありえようか。」◆ビルダドの言葉は弱々しく感じる。彼はヨブを励まそうとして来訪したひとりであり、決してヨブを敵視していたのではない。自分の言葉で慰めを得てほしかった。しかし結局は、ヨブを罪人と断じ、攻撃することに終始し、彼を怒らせた。私たちは自分の力でなんとかなると思っていないだろうか。自分が話せば、説得すれば、また指導すれば成功すると考えていないか。人間に人を救う力はない。神からの知恵によらなければ、虚しい結果になる。

●賛美 / 122 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。

◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

ヨブ記第26章4節「あなたは誰に対して言葉を告げ 誰の息があなたから出たのか。」◆この章から始まるヨブの反論は長い。その冒頭、ビルダドの言葉を批判している。彼らは罪があるから不幸が訪れるという「因果応報」の固定観念があり、それに基づいて持論を語っていた。だから、ヨブが「罪」を認め、悔い改めれば救うことができると考えていた。だが、すべては言葉に終始した。彼らにヨブへの気遣いはなかった。もう少し言うなら、ヨブを理解しようともしなかった。愛のない指摘や批判は、相手の心をかたくなにさせる。

●賛美 / 123 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

ヨブ記第27章6節「私は自分の義を保ち、手放さず 心は私の日々を責めることはない。」◆「そこまで言い切れるのか」と思ってしまう。責められているヨブもそう言い切りたくなる心境だったのだろうし、そこまで追い詰められていたのだろう。だが、私だったら言えない。ただ、言えないのだが、主の御名によって、そのように言わせていただくことはできる。なぜなら、主は十字架によって私の罪をきよめてくださった。その罪の赦しの確信があるから、「私はきよく、正しい」と言える。そのような信仰告白ができるまで、十字架の贖いをわかりたい。

●賛美 / 124 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように

◆宗教法人を取得できるように

◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ヨブ記第28章12節「では、知恵はどこに見いだされるのか。分別はどこにあるのか。」◆この章を呼んでみると、ヨブは鉱山のオーナーだったのか、働いていたのかわからないが、鉱物の種類であったり、鉱物をどう採掘し、抽出するのかといった知識があったことがわかる。おそらく、当時では最先端の技術であったと思われる。だから、「これだけ技術が発達したが、そのように人間の知恵を与えたのはだれなのか」と問っているのだ。今も同様で、これからも先進技術に驚かされるだろうが、神がその知恵を授けられていることを覚え、謙虚であり続けたい。

●賛美／125 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ヨブ記第29章2節「今が昔の日々のようであつたらよいのに。神が私を守ってくれた日々のように。」◆困難に陥った時、私たちは何を考えるだろうか。まず先に、「どうして私が」とヨブのように思うはずだ。受けとめるためには時間がかかる。もしかすると、そこに至った原因に思い当たり、悔いる思いが出てくるかもしれない。詩編には同様な思いを持って作った詩が多い。それらのほとんどは、「過去、このような苦難があっても、神は祝福へと変えてくださったではないか。だから、今回も大丈夫だ」との信仰を抱いて立ち上がっている。神は必ず私たちを救う。

●賛美／126 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ヨブ記第30章1節「しかし今は、私より年若い者が私を笑っている。彼らの父親は、私が退け群れの番犬と一緒に置いた者だ。」◆ヨブの言葉は常軌を逸している。「売り言葉に買い言葉」で、議論が人格攻撃へと変わることがある。おそらく、友人たちの中にはヨブよりも年下の方がいたのだろう。彼らはヨブが自分たちの言うことを聞かなかったため、腹を立て、ヨブの頑なさを責めるようになっていった。ヨブは自分に対する不理解と言葉のひどさにたまらず、「犬と一緒に番をしていた者じゃないか」と言っただけの言葉をはいた。このような状況は避けたい。

●賛美／127 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ヨブ記第31章40節「ヨブの言葉は完結した。」◆ヨブはさらに自分の正しい行いを猛アピールする。ここでは姦淫の罪も犯したことはないと言い切る。それは自分がすべてのことに関し、正しい生活をしてきたのだという発言でもあった。「目と契約を結んだ」（1）とは、まことに潔い姿勢ではある。それはまた、遊女=偶像であって、神だけを見続けていたのだとの告白でもある。だが、一気に反論し、そして反論し続けたことで、ヨブは虚脱感に陥ったのではないか。自己弁護しすぎて、自分で自分があきれたのかも知れない。そして口を閉じたのだ。

●賛美／128 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 28:1～10】

「ふっかつ」

(マタイ28:6)

イエスさまがじゅうじかに かかられたのは きんようびのことでした。つぎのひは「あんそくび」といって、はたらいてはならないひでしたので、いそいで、イエスさまのでしであった、アリマタヤのヨセフがイエスさまの ごいたいをひきとり、じぶんがもっていた あたらしい はかに みんなといっしょに ほうむりました。おおきないしを ころがして しっかり ふたをしめ、あわただしく、そのひが おわりました。

でしたち、とくにマグダラの マリアや おんなのでしの ひとたちは、イエスさまのおはかが あらされていないか、しんぱいで、しかも、しんだとしても イエスさまに あいたいという きもちが つよく ありましたので、あんそくびに いえにいるときも、きもちが おちつきませんでした。

あんそくびの どのようびがすぎ、あんそくびが おわったにちようび。まっさきに イエスさまのおはかに いきました。するとどうでしょう。そのとき、おおきな じしんがおこりました。マリアははっきりとみました。しゅの てんしが てんから くだってきて、おおきないしを ころがし、そのうえに すわったのです。そして、マリアたちに こう はなしかけました。「じゅうじかで しなれた イエスは ここにおられない。かねて いわれていたとおり、ふっかつなされたのだ」

「かねて」とは、イエスさまごじしんも でしたちや おおくのひとたちにむかって「わたしはふっかつする」といわれていたそのこと、そして、きゅうやくせいしよの じだいから、よげんされていたことを さしています。

かみさまは わたしたちを すくうために、すくいぬしをおくり、わたしたちが しなないように えいえんのみちをつくらせてくださった、そのやくそくを まもられた。それが ふっかつのできごとだったのでした。

## ●かんがえてみよう

☆いえすさまが ほうむられた あと、そのおはかに さいしよにいったひとは だれですか。(マタイ 28:1)

☆おはかに ついたとき、なにがおこりましたか。(マタイ 28:2)

☆てんしは どんなことを マリアたちに いいましたか。(マルコ 28:6)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

おそれることはない

る				そ				
な	は		い	お				
い	そ	こ						
		る	こ	おい	そ			
これ	は						い	
そ	い	お	れ	る		と		
は	と	い	る		な		こ	お
お	こ		は	れ	い			そ
	る	そ	お	い	こ	な		は

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① おじんしなおき
- ② はものののみり
- ③ ふれひたし
- ④ ずいなま

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





## 牧師の 聖書 ななめ読み

「成長」

今まで寝ていただけの赤ちゃんがはいはいし、立ち、そして歩けるようになる。そのような成長の過程を見ているだけで元気が出ます。急に背が高くなってしまい、いつの間にか私の背丈を超していて、びっくりしてしまうこともあります。それぞれ、毎日子どもたちのため、家庭の祝福のために祈っている者としては涙が出るほどうれしく、感謝だなと思っています。

しかし、成長を体だけだと考えてはなりません。

高齢者に「大丈夫ですか?」とか「お元気ですか」「どこか痛くないですか」などと声かけすることはあっても、「いつの間にか背が大きくなりましたね!」「将来、楽しみだ!」などと言うことはありませんから、自分はどんどん衰えていっているのだと考えてしまいます。当然、肉体は衰えていくのですが、その肉体の衰えを自分の魂、心、そして信仰にまで当てはめていってはいないでしょうか。聖書の約束を信じてください。私たちは日々成長しているのです。なぜなら、私たちは主イエスの復活の力を帯びているからです。パウロは言いました。「私たちは落胆しません。私たちの外なる人が朽ちるとしても、私たちの内なる人は日々新たにされていきます。」(コリント二 4:16)

## 聖書ふれあい街歩き

### ●マグダラ

伊豆を訪問した時には、必ず「土屋」と遭遇するはず。小学校などでは3分の1が土屋ですから、みな「屋号」で呼ばれます。私の場合は「孫寿(まごす)の和彦」となります。

聖書にはマリアが数人、登場します。「ミリアム」もマリアですが、区別を付けるため、地名などが付け加えられます。マグダラのマリアがそうです。

マグダラはガリラヤ湖の西岸にあった町で、沿岸の他の町同様に漁業と加工業で栄えた、比較的大きな町だったと言われています。加工業とは「ひもの」です。「角上魚類」は新潟で水揚げされたものがその日のうちに相模原の店頭には並びますが、当時の流通手段は「人」ですから、現地でしか、さしみは食べられません。みな干し魚にしてから隣国でさばっていたのです。外国人と付き合っているから、「異邦人のガリラヤ」(イザヤ 8:23)と呼ばれていたわけです。

律法学者の往来が激しいエルサレムと違い、外国人との交易が盛んで、交流もあったため、霊的には「墮落していた」かもしれません。マリアが「七つの悪霊を追い出してもらった」(8:2)のも、ローマや他地域の宗教や文化が原因で起こった結果だったと考えられます。

## ななめ聖書 先週のこたえ

レ	マ	タ	ニ	ク	サ	バリ	エ
リ	ク	ニ	エ	バ	タ	レ	マ
バ	エ	サ	レ	リ	マ	タ	ク
エ	レ	マ	バ	サ	リ	ニ	タ
ク	ニ	リ	タ	マ	エ	サ	レ
サ	タ	バ	ク	レ	ニ	リ	エ
タ	サ	エ	リ	ニ	ク	マ	バ
マ	リ	レ	サ	エ	バ	ク	ニ
ニ	バ	ク	マ	タ	レ	エ	サ
リ							

- ①ざいじょうがき
- ②ごうとうたち
- ③たんじゅう
- ④ぶじょく

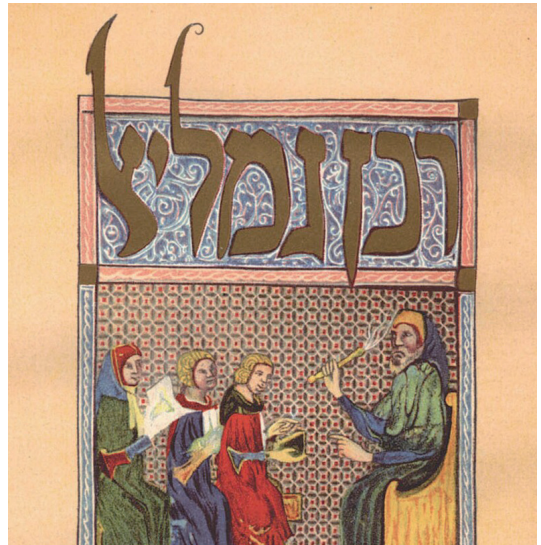


## アントニオ要塞

パウロは兵営の中に連れて行かれそうになったとき、「一言お話ししてもよろしいでしょうか」と大隊長に言った。

すると、大隊長が尋ねた。「ギリシア語が話せるのか。それならお前は、最近暴動を起こし、四千人の暗殺者を引き連れて荒れ野へ行った、あのエジプト人ではないのか。」

パウロは言った。「私は確かにユダヤ人です。キリキヤ州のれっきとした町、タルソスの町の市民です。どうか、この人たちに話をさせてください。」(使徒言行録21:37~39)



ラビ・ガマリエルの教育

## 【あのエジプト人】

ローマの大隊長が聞き慣れないことを言っています。パウロがギリシア語を話すと、驚いた様子で「おまえは最近暴動を起こして荒れ野に逃げていったエジプト人ではなかったのか?」。

主イエスの時代のユダヤの歴史を調べる上で、非常に重要な資料があります。『ユダヤ古代誌』『ユダヤ戦記』です。著者はヨセフスといい、エルサレムの祭司の家系に生まれた人物で、生年は37年とされています。つまり、弟子たちが活躍している時代に、「歴史家」としてユダヤの歴史を綴っていたのです。残念ながら、新約聖書の記述とだぶっている、つまり、聖書の記述が実際に起こっていたことを証明する記事は少ないのですが、当時の背景について細かく書かれている「第三者」の証言であることに間違いはありません。

実は、そのヨセフスの古代誌にこの「エジプト人事件」が掲載されているのです。

ヨセフスの記述でも、名前は書かれていませんが、エジプトから来たユダヤ人で、自分を預言者のように名乗り、「神の力で奇跡を起こす」と主張し、大勢の人々を扇動したとされています。

このような人は、現代でも時々現れます。聖書が預言しているように終末が近くなると偽預言者が多く現れるのです。オウム真理教の麻原彰晃や幸福の科学の大川隆法もそのような一人です。

使徒言行録には4千人となっていますが、誇張かどうかわかりませんが、ヨセフスは3万人と記しています。ローマ支配に不満を持つ者たちが「暗殺者」つまり、武装した群衆を率いてオリブ山に集め、そのところで「私が命じれば、エルサレムの城壁が倒れる」と主張して、エルサレム

城内に突入を企てます。おそらくエリコの城壁の奇跡をイメージしたのでしょう。この「エジプト人」の目的は、宗教を利用してローマ支配を転覆させようとした政治的クーデターです。

暗殺者とは、群衆に紛れ、短刀を使って要人を指していく手口で殺人を行う人たちです。極めて危険でローマも手こずっていました。しかし、ローマにとっては明らかな反乱です。当時のローマ総督フェリクスは軍を出動させ、暴動を鎮圧します。この時、多くの死傷者がでるのですが、肝心の首謀者のエジプト人は逃亡しました。

パウロが来たことで暴動にもなりかねない状況が生じたことで、大隊長はその事件を思い起こしたのでしょう。最初はパウロが「エジプト人」ではないかと疑っていたようです。しかし、ギリシア語を話した。ここで大隊長は「あれ?こいつ教養があるな。粗暴な人物ではなく、非常に理性的だ。じゃあ、あの首謀者とは考えにくいぞ」という思いに至り、「あのエジプト人ではないのか」と尋ねたのです。

「あのエジプト人」のほかに、ガマリエルが過去の事件を引き合いに出している場面(使徒5章)、テウダの反乱、ガリラヤのユダの反乱があったと記されています。テウダの場合には従った者は約400人ほどでしたが、ローマによって鎮圧されています。ヨセフスの記述ではテウダは「ヨルダン川を分けて、渡らせることができる」と言っていたそうです。それで人心を引き付けたのでした。偽物の化けの皮はすぐに剥がれますが、「神から出たものなら、彼らを滅ぼすことはできない」(5:39)のです。私たちもしっかり見極めなければ惑わされます。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#2/17)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#2/18～#3/28)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/5～#5/23)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#5/24～#11/28)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/29～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/10・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)  
父の日(6/21・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/22・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)  
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/22～28)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)  
最後の晩餐集会(#4月2日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)  
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか  
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし  
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ  
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

